

環境委員会

委員一覧 (21名)

委員長	滝沢 求 (自民)	関口 昌一 (自民)	水岡 俊一 (立憲)
理事	朝日 健太郎 (自民)	野村 哲郎 (自民)	新妻 秀規 (公明)
理事	進藤 金日子 (自民)	松山 政司 (自民)	宮崎 勝 (公明)
理事	丸川 珠代 (自民)	三原じゅん子 (自民)	青島 健太 (維新)
理事	清水 貴之 (維新)	渡辺 猛之 (自民)	浜野 喜史 (民主)
理事	山下 芳生 (共産)	青木 愛 (立憲)	山本 太郎 (れ新)
	石井 準一 (自民)	辻元 清美 (立憲)	ながえ 孝子 (無)
			(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第210回国会において、本委員会に付託された法律案はなかった。
また、本委員会付託の請願2種類35件は、いずれも保留とした。

〔国政調査〕

11月1日、福島再生・未来志向プロジェクトへの取組、熱中症対策の取組強化、「旧統一教会」問題、省エネ住宅等の普及に向けた取組の在り方、食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」推進事業の評価、「大阪・関西万博」に対する環境省の支援、発電用原子炉の運転期間の検討、大阪市夢洲地区IR予定区域におけるPCB土壤汚染問題、ALPS処理水の海洋放出問題、環境省における女性の管理職登用等について質疑を行った。

12月6日、COP27の成果、発電用原子炉の運転期間、特定外来生物の水際対策の強化、有機フッ素化合物PFASの環境への影響、カーボンニュートラル実現及び経済成長に向けた原子力発電の活用、大阪市夢洲地区IR予定区域におけるPCB土壤汚染問題、原子力防災に係る避難計画の実効性、石炭火力発電におけるアンモニア混焼等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和4年10月27日(木) (第1回)

- 理事の選任及び補欠選任を行った。
- 環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。

○令和4年11月1日(火) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 福島再生・未来志向プロジェクトへの取組に関する件、熱中症対策の取組強化に関する件、「旧統一教会」問題に関する件、省エネ住宅等の普及に向けた取組の在り方に関する件、食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」推進事業の評価等に関する件、「大阪・関西万博」に対する環境省の支

援に関する件、発電用原子炉の運転期間の検討に関する件、大阪市夢洲地区 I R 予定区域における PCB 土壌汚染問題に関する件、ALPS 処理水の海洋放出問題に関する件、環境省における女性の管理職登用にに関する件等について西村環境大臣、太田経済産業副大臣、小林環境副大臣、国定環境大臣政務官、柳本環境大臣政務官、山中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

進藤金日子君（自民）、朝日健太郎君（自民）、水岡俊一君（立憲）、宮崎勝君（公明）、清水貴之君（維新）、浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）

○令和 4 年 12 月 6 日（火）（第 3 回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を定めることを決定した。
- COP27の成果に関する件、発電用原子炉の運転期間に関する件、特定外来生物の水際対策の強化に関する件、有機フッ素化合物 P F A S の環境への影響等に関する件、カーボンニュートラル実現及び経済成長に向けた原子力発電の活用に関する件、大阪市夢洲地区 I R 予定区域における PCB 土壌汚染問題に関する件、原子力防災に係る避難計画の実効性に関する件、石炭火力発電におけるアンモニア混焼に関する件等について西村（明）国務大臣、中谷経済産業副大臣、山中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

辻元清美君（立憲）、新妻秀規君（公明）、青島健太君（維新）、浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）

○令和 4 年 12 月 10 日（土）（第 4 回）

- 請願第 41 号外 34 件を審査した。
- 環境及び公害問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。